

平成 29 年度 京都大学防災研究所 拠点研究（一般推進研究） 29A-02 研究集会
「活断層で発生する大地震による地表地震断層近傍地域の強震動予測と
地震被害想定的高度化に関する研究集会」
2018 年 3 月 8 日（木） 11 時～17 時 30 分
京都大学宇治おうばくプラザ セミナー室 4&5
主催：京都大学防災研究所 拠点研究 29A-02

プログラム

※講演者、講演題目、講演順は変更の可能性があります。

11:00 – 11:05 主旨説明 浅野公之（京大防災研）

11:05 – 12:30 内陸地震に関する地球物理学的知見の情報整理 座長 澤田純男

○浅野公之、岩田知孝（京大防災研）

「2016 年熊本地震の強震動生成に関わる震源断層破壊過程の特徴整理」

○宮崎真大、山下裕亮（京大防災研）

「自然地震観測から考える 2016 年熊本地震」

○吉村令慧（京大防災研）

「比抵抗構造から内陸地震の固着域を推定できるか？（仮）」

○土井一生、釜井俊孝（京大防災研）、原口強（大阪市立大理）、山田和芳（ふじのくに地球環境史ミュージアム）、石川尚人（京大人環）、大倉敬宏（京大理）、村尾英彦（村尾地研）、美馬健二（太田ジオリサーチ）、川嶋睦義（国土防災技術）

「平成 28 年熊本地震に伴って阿蘇谷に見られた大規模亀裂群の成因の推定—的石地区におけるボーリング調査—」

（休憩）

13:30 – 15:20 断層近傍地震動及びサイト特性 座長 後藤浩之

○岩田知孝、浅野公之（京大防災研）

「2016 年熊本地震の震源断層近傍強震動について」

○吉田昌平、香川敬生（鳥取大工）

「日本内陸における地表および潜在断層地震の地震動特性と震源特性に関する検討」

○倉橋奨、入倉孝次郎（愛知工業大）、岩田知孝、浅野公之（京大防災研）

「2016 年熊本地震本震時の長周期速度パルス地震動の生成メカニズム」

○Jikai Sun（京大防災研）

「Site Effects Analysis of Subsurface Structures at Mashiki Town, Kumamoto, Based on Microtremor Horizontal-to-Vertical Spectral Ratios」

○山田真澄（京大防災研）

「2016 年熊本地震で益城町に現れた震災の島とその生成要因」

（休憩）

15:40 – 17:10 強震動予測・サイト特性高度化のための手法開発 座長 関口春子

○津田健一（清水建設）、川辺秀憲（大阪大工）

「物理モデルに基づく断層極近傍での地震動シミュレーション」

○長嶋史明（京大防災研）

「拡散波動場理論に基づいた新しい地震基盤入射スペクトル推定法」

○Anirban Chakraborty、Hiroyuki Goto（京大防災研）

「A Bayesian methodology reflecting uncertainties on map resolutions with application to the study of site response variation」

○川瀬博（京大防災研）

「S 波のサイト増幅率を直接求める経験的三重補正法の提案」

17:10 – 17:30 総合討論 とまとめ 座長 松島信一

※問い合わせ先 京都大学防災研究所 浅野公之 k-asano@egmdpri01.dpri.kyoto-u.ac.jp